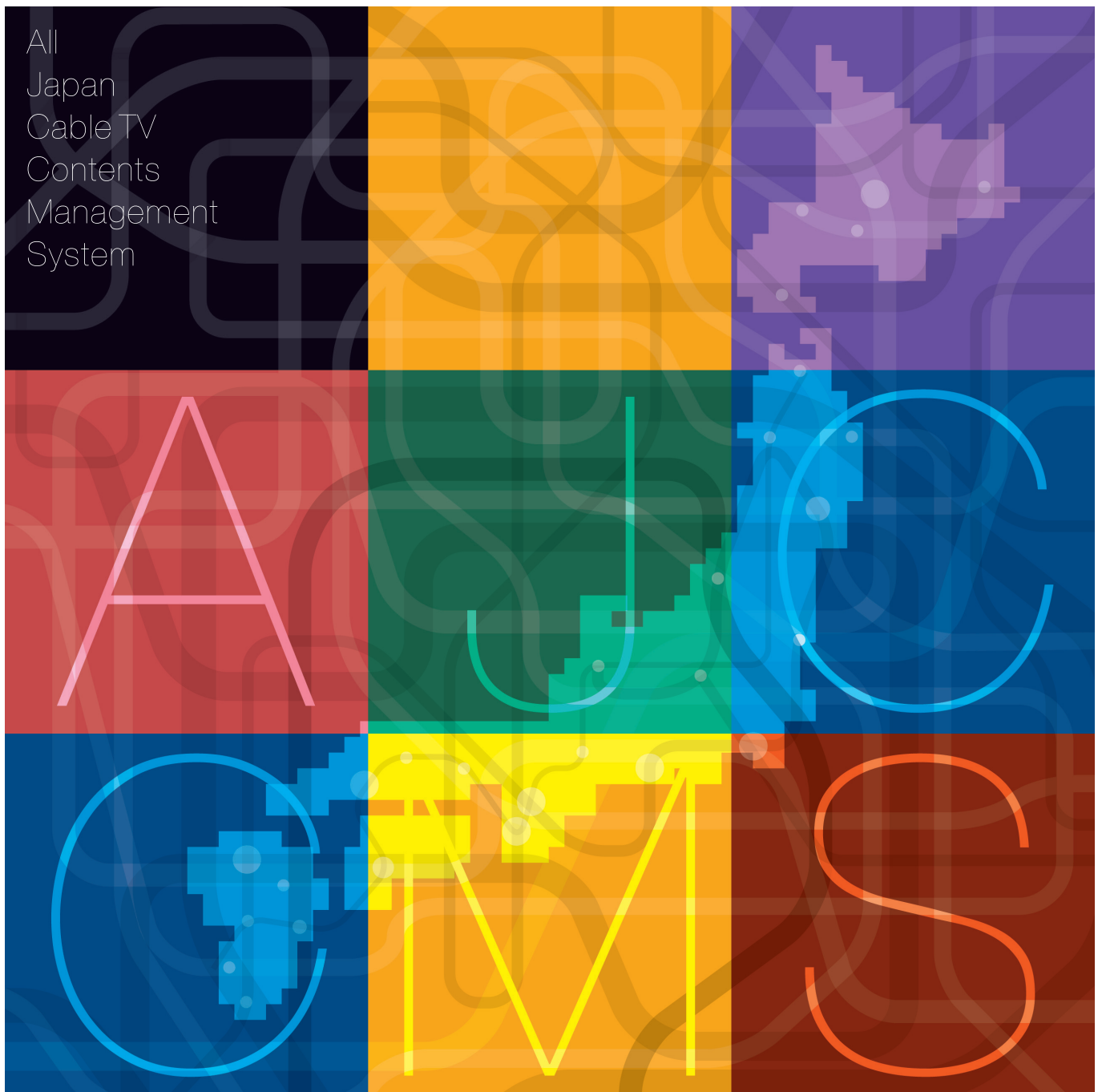


AJC-CMS通信 Vol.1

AJC-CMS活用インタビュー

- 02 — ジャパンケーブルネット「にっぽんケーブルチャンネル」でAJC-CMSを積極活用
- 04 — 東京ケーブルネットワーク AJC-CMSで番組交換に対する意識改革
- 06 — ヘルプデスク直送！ AJC-CMSよくある質問&回答集 vol.1
- 07 — AJC-CMS ニュース「バージョンアップのお知らせ」
- 08 — AJC-CMS利用実績 / AJC-CMS利用料金 / 編集後記



AJC-CMSがなければ 「にっぽんケーブルチャンネル」は実現できなかった

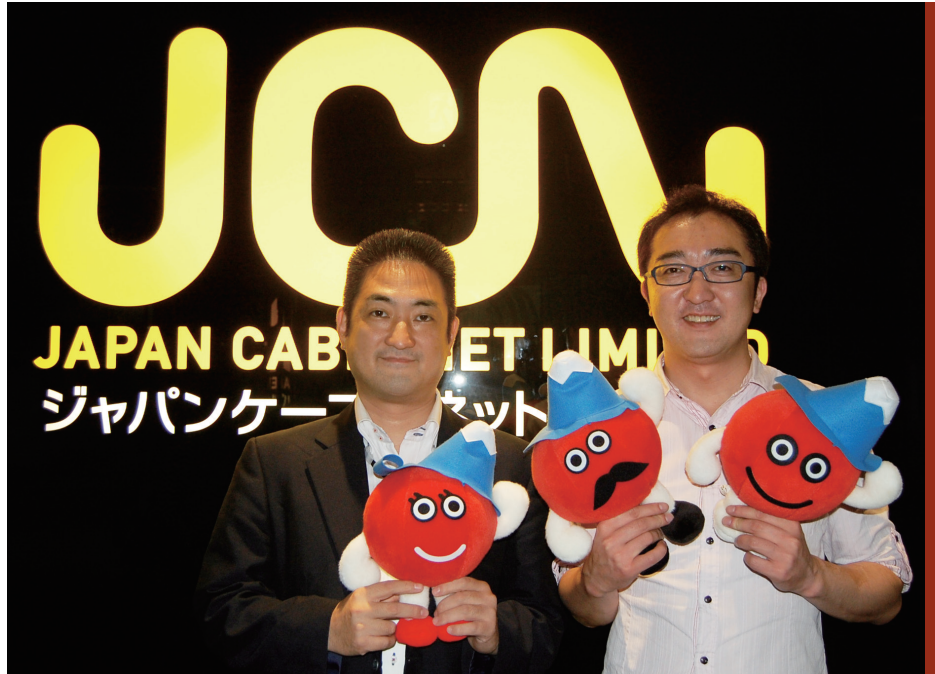
関東圏を中心にケーブルテレビ事業を展開するMSO、ジャパンケーブルネット(株)(東京・中央区、藤本勇治社長、以下JCN)は、2012年10月より、第2コミュニティチャンネル「にっぽんケーブルチャンネル」を放送開始した。同チャンネルでは日本全国のケーブル局が制作した番組を放送。この番組収集にAJC-CMSが活用されているという。具体的にどのように利用されているのか聞いてみた。

吉田哲也氏(写真左)

ジャパンケーブルネット(株) メディア事業本部
メディア営業部長

齋藤直哉氏(右)

ジャパンケーブルネット(株) メディア事業本部
メディア営業部 マネージャー/プロデューサー・演出



毎月80～90本の ケーブル局制作番組を放送

—JCNでのAJC-CMSの活用方法について教えてください。



齋藤：昨年10月に放送開始したJCNの第2コミチャン「にっぽんケーブルチャンネル」での番組制作に利用しています。このチャンネルでは全国のケーブル局が制作した番組を放送しており、中でも全国を7ブロックに分け、それぞれの地方の出身MCが各地域のケーブル局の番組を紹介する

番組『ふるさとタイム』では、毎月合計80～90本ほどのケーブル局制作番組を放送しています。こうした番組を各局から集める際にAJC-CMSを利用しています。

吉田：「にっぽんケーブルチャンネル」ではオールケーブルでのブランディング向上や、JCNグループ局の多い関東圏の方々に対し、普段見ることのできないケーブル局の番組を見て楽しんでもらおうという趣旨で立ち上げました。本放送開始が昨年10月1日で、AJC-CMSの本運用開始とちょうど重

なりましたが、これは非常にタイミングが良かったですね。現実的にAJC-CMSがなかったら「にっぽんケーブルチャンネル」は実現できなかったと思います。月に80本という番組を、各局においてメディア(テープやディスク)にコピーしてもらって、それを宅配便で送ってもらい、さらに放送後に返送するなどといった作業は、今のオペレータ業務では時間的に不可能です。その点、AJC-CMSなら完パケや素材をノンリニア編集機などからすぐにアップロード/ダウンロードできますし、映像もローカルに落とさずにプレビュー画面で見ることができます。映像素材を出す方にとっても受け取る方にとっても使い勝手の良いシステムです。

運用面でも、たとえば完パケをメディアで送ってもらっていた頃は、わざわざ手間をかけていただいた分、絶対に放送で使わなければいけないと思っていました。しかしAJC-CMSを使うようになってからは気軽に完パケのやりとりができるようになったので、試しに数話分をアップロードしてもらってそれを視聴し、その上で必要なものを購入するといったこともできるようになりました。また数多くの番組を扱うので、サムネイルでシーンを大まかに確認できるのもありがたいですね。

にっぽんケーブルチャンネル



JCNが2012年10月1日より放送を開始した第2コミュニティチャンネル。「全国から地域へ、地域から全国へ」をコンセプトに、JCNグループが制作する首都圏の地域番組や、全国のケーブル局が制作する地域番組などを放送している。視聴可能世帯数は約320万世帯(2013年7月現在)。

「にっぽんケーブルチャンネル」で放送中の『関西ふるさとタイム』。関西のケーブル局が制作した番組を紹介・放送している。他に全国6ブロック別のバージョンも放送中

齋藤：今年の4月から『ふるさとタイム』内に「ふるさと便り」という、地方のイベントを紹介するコーナーを作りましたが、そこでもAJC-CMSが活用されています。『ふるさとタイム』で放送する番組は、編集期間などの都合上、どうしても番組制作局での放送から2カ月ほどのタイムラグが生まれていました。そこでタイムリーな情報も扱いたいと思い、その週に行われるイベントなどを紹介するコーナーとして「ふるさと便り」を作ったのです。このコーナーの画作りを行う際、たとえばお祭り情報だったら前年行われたお祭りの模様など、各種映像素材を各局にAJC-CMSでお送りいただいています。こうしたちょっとした素材の伝送を行えるようになったおかげで、画作りに説得力を持たせられるようになりました。手間のかかるメディアでの伝送では、リアルタイム性のある素材伝送など到底考えられません。「ふるさと便り」はコーナーだけでなく、7ブロック分をまとめたミニ番組としても放送しています。



全国のケーブル局を結んだ 生放送に近い番組を実現したい

—今後「にっぽんケーブルチャンネル」で挑戦したいことは？

齋藤：「ふるさと便り」のようなタイムリーな情報提供を一歩進め、AJC-CMSを活用して、全国のケーブル局と一緒に生放送に近い形の企画を進めたいですね。『ふるさとタイム』の制作では毎回全国のケーブル局と連絡をとっているのですが、徐々にコミュニケーションも密になってきました。「仲間意識が芽生えてきた」とおっしゃってくれる局もあり、だからちょっとした素材伝送にも対応してくれると思います。こうした関係を大切にしつつ、今年10月の「にっぽんケーブルチャンネル」1周年の頃には企画を実現したいと思っています。

—AJC-CMSに期待することはありますか？



吉田：AJC-CMSによって番組販売が活性化することに期待したいですね。ケーブル業界ではこれまでパーティーでの無料交換が多かったのですが、権利処理やRMPなどに各局がしっかりと対応し、コンテンツが商品や資産として扱われるようになってほしいと思います。そうなれば制作

費をペイしたり、あるいは売り上げが出たりするようなケーブルコンテンツも生まれるかもしれません。各局が自ら制作した番組に責任を持ち、番組を広く販売していく。AJC-CMSはその基盤として活躍してほしいです。

ケーブル局のローカル番組は 海外ニーズもあるのでは

—視聴者からのチャンネルに対する反響はいかがですか？

吉田：最初は視聴者の故郷の番組に対するニーズが高いだろうと推測し、比較的オールラウンドな番組を放送していました。しかし放送開始直後にモニターアンケートを実施したところ、予想外に故郷以外のディープなローカルネタを扱った番組の人气が高かったのです。視聴継続希望も約9割に上るなど、日本のローカル全般に対する興味が高いことがわかりました。それ以降はあえて地方色たっぷりの番組を編成しています。

こうしたローカル色の強い番組は、日本だけではなく海外でもニーズがあると考えています。日本に来慣れている外国人観光客などは観光地以外にも行ってみたいと思っているようですが、そういったローカルな情報を紹介するコンテンツは少ないのだそうです。AJC-CMSを通じて海外への番組流通ができるようになれば、海外への番組販売といった新たな可能性も生まれるかもしれません。

AJC-CMSで 番組交換に対する意識が革命的に変わった

東京・文京区、荒川区、千代田区をエリアに事業を展開する東京ケーブルネットワーク(株)(東京・文京区、棟田和博社長、以下TCN)。同社では2012年1月の『けーぶるにっぽん ふるさとの宝』の配信を契機にAJC-CMSの利用を開始。その後、番組交換を中心に活用しているという。活用事例と今後の展開などについて聞いてみた。

瀬間健司氏(写真左)

東京ケーブルネットワーク(株) 制作部 次長

松尾 遼氏(中央)

東京ケーブルネットワーク(株) 制作部 業務グループ 主任
コミュニティチャンネル プロデューサー/ディレクター

大野寛子氏(右)

東京ケーブルネットワーク(株) 制作部 業務グループ グループ長



レギュラー/単発番組を 100～250万世帯へ配信

—AJC-CMSの活用方法について教えてください。

瀬間: 弊社では2012年7月より第2コミチャンをスタートしたのですが、それにより放送時間枠に余裕が出たので、その枠で弊社エリア以外の地域情報も厚く放送し、視聴者に喜んでいただくという方針を打ち出しました。また同時に、弊社は東京・文京区、荒川区、千代田区という東京都心が放送エリアですので、都心らしい地域との関わりを映した番組を制作し、他局に配信する施策も実施することになりました。つまりそれまでも行っていた番組交換を強化し、他局の番組を編成しつつ、自局の番組も多くのエリアで放送してもらうという方策です。この番組交換のインフラとして、AJC-CMSが活用されています。

松尾: TCNでは09年頃より番組交換による制作・編成手法を模索しており、他局にご相談しながら、少しずつ番組交換の事例を増やしてきました。

現在はレギュラー番組として、弊社制作の街歩き番組『あらぶんちよ散歩』を長崎ケーブルメディア、CTY、YOUテレビ、iネット飯山に毎月1話配信しています。一方で長崎ケーブルメディアからは『この坂のぼれば』、CTYからは『メモリー～記録帳をつくる旅～』、YOUテレビからは『横浜ミストリー』、iネット飯山からは『信越トライウォーク』(上信越地域8局共同制作番組)をそれぞれ配信いただいています。

また弊社と広域高速ネット二九六では、JAいんばとのコラボ番組『農業キッズ!～親子で稲作体験』を交互に制作していますが、これもAJC-CMSを利用して手軽に番組を送ることができるようになりました。

単発番組でも今年度に入ってから立て続けに2本配信を実施しました。1つは福島県石川町を紹介する番組『福島県石川町のんびりほっこり温泉めぐり』です。弊社エリアの荒川区と災害時の協定を結んでいる石川町が、原発事故による放射能の風評被害で苦しんでいらっしゃるのとことでしたので、石川町は安全で美味しいものもたくさんあるといった点をアピールする番組を制作しました。ぜひ多くの方に見てもらいたい番組でしたので、連盟などを通じて配信を呼びかけたところ、全国の局から反応がありました。

大野: 配信開始当初の視聴可能世帯数は約150万世帯でしたが、その後も配信局は増え、最終的には20局・約236万世帯となっています。石川町の商品プレゼントを情報誌面でも行

あらぶんちよ散歩

TCNのエリアである文京区、荒川区、千代田区をめぐる街歩き番組。TCN発行の暮らしの情報誌「あらぶんちよ通信」誌面と連動し、誌面記事を見ながらリポーターがその街の姿をレポートする。



情報誌と連動する街歩き番組『あらぶんちよ散歩』

い、多くの応募をいただきました。石川町の皆様にもご好評いただき、町長自ら弊社に来社されて、感謝状も頂戴いたしました。

松尾: もう1つは今年5月に開催された「神田祭」の番組配信です。日本三大祭に数えられ、全国的に注目度の高い「神田祭」の様子をより多くの方に楽しんでもらおうと、番組を制作し配信することにしました。こちらはまだ配信開始直後ですが、すでに15局・約220万世帯へと配信されています。

瀬間: その他連盟東京支部で「スポーツ祭東京2013」(東京国体・全国障害者スポーツ大会)を応援する番組『すぽ旅!〜スポーツ祭東京2013の歩き方〜』も制作しており、この配信にもAJC-CMSが活用されています。

AJC-CMSの利用により 番組制作面での意識変化も

—AJC-CMSを使用されて、便利だと感じられた点は?

松尾: 弊社では12年1月からAJC-CMSを使い始め、その時点で番組交換を行っていたので、各局との番組交換もAJC-CMSに切り替えました。

やはりAJC-CMSでテープへのダビングなどの手間なく番組交換できるのは非常に便利です。テープダビングと発送作業が重なると、マンパワーの少ないケーブル局にとっては大きな負担となりますが、AJC-CMSによってその作業がなくなり負担が大きく軽減されました。レギュラー番組の配信局が増えたとしても、AJC-CMSのグループに加えるだけで済みます。この手軽さにより、番組交換に対する姿勢や考え方ががらっと変わりました。革命的と言ってもいいほどです。

番組交換が容易になったことから、制作面でも意識や手法の変化が起きている。たとえば番組で紹介する場所やお店の住所や電話番号も、全国で視聴される可能性のある番組には詳しい住所や市外局番を入れるなど、よりわかりやすい番組作りを心がけるようになりました。先ほどの「神田祭」の番組も今回は単なる中継ではなく、神田祭を知らない人でも見やすいようドキュメンタリータッチの番組作りを行なっています。

番組交換は制作者のモチベーション向上にもつながっています。これまでどうしても我流な部分がありましたが、他

局の制作した番組を見る機会が増えることで、手法や視点などさまざまな部分で刺激を受けます。

また番組交換によって人的ネットワークも広がっていきます。業界の集まりなどで普段AJC-CMSで番組のやりとりをしている人と会うと話が弾んだり、逆に初めて名刺交換をした人とでもAJC-CMSのお蔭で気軽に番組交換の相談ができたり—そういった人と人のつながりにも、AJC-CMSは役立っていると思います。

全国のケーブルを結んだ 取材ネットワーク構築の可能性も

—今後のAJC-CMSの利用方針を教えてください。

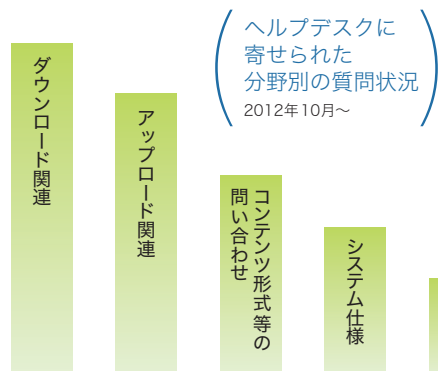
松尾: AJC-CMSを利用して、共同制作番組を作れないかと考えています。各局が映像素材を撮影し、それをAJC-CMSで持ち寄って番組にするような形です。TDN(東京デジタルネットワーク)のコミュニティチャンネル部会でもそういった話が出ています。

また自局エリア外の地域の取材が必要な時に、現地のケーブル局に撮影を依頼して映像素材を送ってもらったり、逆に弊社エリアでの撮影が必要な際にはご依頼いただいたりと、そういった協力関係もAJC-CMSがあれば築けるのではないのでしょうか。国内には400局ものケーブル局があり、もしその協力体制を構築できれば、地上波民放以上のネットワークとなります。

瀬間: AJC-CMSという、コンテンツ流通の予想以上に素晴らしいインフラが完成しました。現在はそれをいかに使いこなすべきか、制作現場が知恵を絞っている段階です。新しい企画に挑戦をする中で必要な機能などが浮かび上がってきましたら、要望を出していきたいと思います。

ヘルプデスク直送! AJC-CMS よくある質問 & 回答集 Vol.1

シンプルで使いやすいAJC-CMSですが、それでも使っていると出てくる疑問点や不明点。ここではヘルプデスクに寄せられたAJC-CMSについての質問の中から、問い合わせ件数の多いダウンロード関連とアップロード関連、およびシステム仕様で質問の多い各種お知らせメールについてご案内します。



アップロードが途中で止まって完了しない!

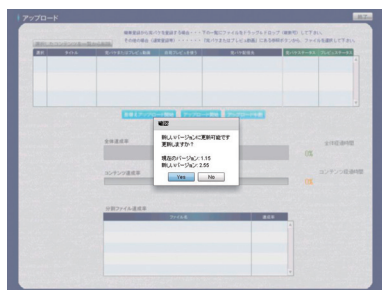
Q アップローダーの進捗状況が止まってしまい、コンテンツのアップロードが完了しません。

A アップローダーのバージョンが最新ではない可能性があります。

お使いのアップローダーが最新バージョンではない可能性があります。アップローダーの更新がある場合、AJC-CMSトップページから「新規登録」→「簡単登録」と進むと、アップローダー起動後にインストーラーが起動します。指示にしたがってインストールを行ってください。

利用する作業端末に社内システム上の制限があることにより、アップローダーの更新を行えない可能性があります。その場合には社内システム管理者によるアップローダーの更新を実施後、アップロードをお試しください。

事象が改善されない場合はヘルプデスクまでご連絡ください。

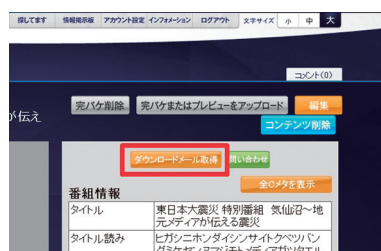


アップロードが止まってしまう場合は、アップローダーの更新確認を

①の場合は、まだ完パケがアップロードされていないと考えられます。新規コンテンツ公開メールは完パケのアップロードの有無にかかわらず、コンテンツ登録完了時点で、送信されます。配信元にてアップロード中、または、これからアップロードする可能性がありますので、しばらくお待ちください。

②の場合は、配信元の作業にて完パケの「配信先」の設定に貴社が含まれていない可能性があります。配信元へ「配信先」の設定についてご確認ください。

③の場合は、配信元の作業にてコンテンツの「公開先」の設定が変更され、現時点で公開先に貴社が含まれていない可能性があります。配信元へ「公開先」の設定についてご確認ください。



コンテンツ詳細ページに「ダウンロードメール取得」(赤枠内)がない時は、完パケがアップロードされていない可能性が高い

メールの配信タイミングを教えてください!

Q 「新規コンテンツ登録案内メール」や「ダウンロードURL送付のお知らせ」など、AJC-CMSから送信されるメールの配信タイミングを教えてください。

A 4つのメールの配信タイミングについてご回答します。

- ・新規コンテンツ登録案内メール
- ・ダウンロードURL送付のお知らせ
- ・アップロード依頼のお知らせ
- ・プレビュー作成失敗

の4つのメールの配信タイミングについてご回答します。

「新規コンテンツ登録案内メール」は、コンテンツ登録時に「公開先」に設定されている局へ送信されます。

「ダウンロードURL送付のお知らせ」は、完パケアップロード完了時に「配信先」に設定されている局へ送信されます。

「アップロード依頼メール」は、完パケが存在しないコンテンツに他局がアップロード依頼を行なった際に送信されます。

「プレビュー作成失敗」は、完パケアップロード後、プレビュー生成が失敗した際にアップロード者と自局管理者へ送信されます。

新規コンテンツ登録メールが来たが、コンテンツをダウンロードできない!

Q 新規コンテンツ登録案内メールを受信しましたが、コンテンツをダウンロードできません。

A 大きく3つのケースが想定されます。

新規コンテンツ登録案内メールを受信したのにコンテンツをダウンロードできない場合、大きく3つのケースが想定されます。

- ①コンテンツ詳細ページ内に「ダウンロードメール取得」がない
- ②ダウンロードページからダウンロードできない
- ③詳細ページへアクセスした際にトップページに戻ってしまう

疑問・質問がございましたら、お気軽にお問い合わせください

ヘルプデスクへのお問い合わせは 電話:0120-112-884 メール:jcta_ajc-cms@catv.or.jp *受付:9:30~18:00(平日、土日祝日も)

2012年10月より、AJC-CMSは利用料をいただいでの本運用を開始しました。AJC-CMSをご利用の事業者も数多くなりましたが、今後さらに多くの事業者に快適にご利用いただくためにシステムの追加開発を行い、13年6月にバージョンアップを実施しました。ここではそのバージョンアップの内容をご紹介します。

開発Point 1

コンテンツの履歴の確認が可能になりました！

トップ画面上部の「コンテンツ管理」で表示されるメニューの「登録コンテンツ履歴」「取得コンテンツ履歴」より、登録コンテンツおよび取得コンテンツの履歴を確認できるようになりました。「登録コンテンツ履歴」は自社で登録したコンテンツの購入局を一覧で確認したり、売上をチェックしたりする際に便利な機能です。また「取得コンテンツ履歴」では自社で1ヵ月間にダウンロードしたコンテンツの一覧を確認できます。

さらに「登録コンテンツ履歴」「取得コンテンツ履歴」ともCSVファイルとしてローカルに保存できるので、オフラインでの作業や書類作り等にも便利です。

登録日時	ケーブル局名	ユーザー名	タイトル	CMS公開日	完パケ	メタ	閲覧	プレビュー	ダウンロード	ダウンロード総量(GB)	販売数	売上
2013/07/18 11:31:46	(一社)日本ケーブルテレビ連盟	JOTA管理者		~	無し	有り	0	0	0	0MB	0	0円
2013/07/18 10:29:00	(一社)日本ケーブルテレビ連盟	JOTA管理者	テレビー生成確認履歴化ファイル_000MB	2013/07/18 ~	有り	有り	2	0	0	0MB	0	0円
2013/07/18 10:28:39	(一社)日本ケーブルテレビ連盟	JOTA管理者		~	無し	有り	0	0	0	0MB	0	0円
2013/07/18 10:24:58	(一社)日本ケーブルテレビ連盟	JOTA管理者	テレビー生成確認_000MB	2013/07/18 ~	有り	有り	4	0	0	0MB	0	0円
2013/07/18 10:10:27	(一社)日本ケーブルテレビ連盟	JOTA管理者		~	無し	有り	0	0	0	0MB	0	0円
2013/07/18 10:06:07	(一社)日本ケーブルテレビ連盟	JOTA管理者	テレビー生成確認1_20MB	2013/07/18 ~	有り	有り	26	0	0	0MB	0	0円

自社登録コンテンツの購入局などを一覧で確認できます

<配信先ケーブル局名>
○○○様

AJC-CMSより、以下コンテンツの配信が行われましたのでお知らせします。

ダウンロードの有効期限は、00月00日までとなります。
期間を過ぎた場合、システムより完パケファイルが削除されますのでご注意ください。

配信局案内文:ここに設定された案内文が挿入されます
配信元ケーブル局:(一社)日本ケーブルテレビ連盟
コンテンツID:
タイトル:
ダウンロードファイル名:○○○

完パケは以下リンクからダウンロード可能です。

コンテンツ詳細はこちらでご確認ください。
番組宣伝素材やキューシート等もご取得いただけます。
<http://www.ajc-cms.jp/contents/view.php?id=>

*ダウンロード対応ブラウザは以下の通りです。
Internet Explorer6以降、Safari5以降

通知メール内に番組内容等を伝える案内文が記載可能に

開発Point 2

通知メールに案内文が記載可能になりました！

コンテンツ配信指定先に自動的に送られる通知メール内に、配信する番組に関する案内文を記載できるようになりました。AJC-CMSでコンテンツを確認する前にメールで内容がわかるので、配信側にとっても受け取り側にとっても効率の良い受け渡しが可能となります。

コンテンツの「通常登録」時や「コンテンツ編集」の「配信・案内設定」より、「案内文を編集する」をクリックすると、案内文の登録ウィンドウが立ち上がりまます。案内文がメールにどのように表示されるか確認したい場合は、右の「サンプル」をクリックすると、メール本文のサンプルを見ることができます。

※利用可能な通知メールには、コンテンツ公開先に送られる「新規コンテンツ登録案内」と完パケ配信先に送られる「ダウンロードURL案内」の2種類があります。

開発Point 3

セキュリティを強化しました！

配信するコンテンツに「AES」(Advanced Encryption Standard)というセキュリティ性の高い暗号化を設定できるようになりました。これにより十分なセキュリティが要求されるコンテンツも配信可能となります。アップローダーにコンテンツを登録すると「暗号化」というチェックボックスが表示されます。そこにチェックを入れると、アップロードの際に暗号化が行われます。暗号化されたコンテンツをダウンロードする際には専用のダウンローダーが必要となりますのでご注意ください。

AJC-CMS アップローダー

※登録された内容からプレビュー映像は自動生成されます。

完パケファイルを選択 この上にあるファイルをドラッグ&ドロップしても登録可能です。

1 動画ファイル.avi

暗号化 プレビュー 完パケ配信 案内文編集

設定項目を表示 (クリック)

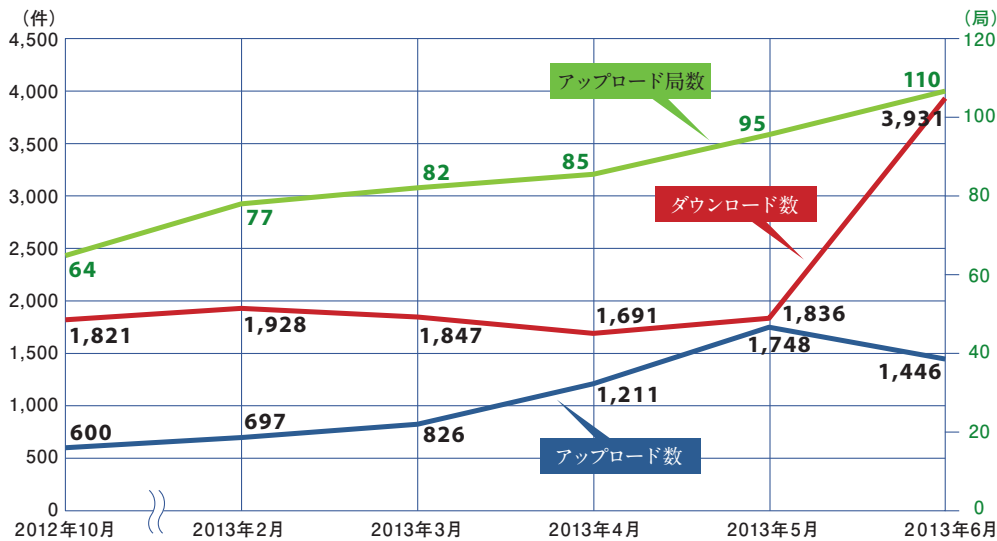
アップロードするファイルはウイルスチェック済み ※必須

【低速】アップロード開始 【高速】アップロード開始

「暗号化」のチェックボックス(赤枠内)をチェックすると、アップロード時に暗号化されます

その他「RMP導入の有無による配信先の絞り込み」「コンテンツ登録がミスなく行えるようステップ化」「利用する回線速度の違いに応じて快適にアップロードできるよう改良」といったアップデートが行われています。ぜひ新機能をお試しください。

AJC-CMSの利用実績



2012年10月から13年6月末現在で、利用局数は約170局から約250局に増加
アップロードを行う局の数も2倍近くになり、流通コンテンツも月間アップロードで2.4倍に増加

AJC-CMS利用料金表

オペレータ(※1)	月額	年額
正会員オペレータ(本部会員を対象とします)	8,000円(税抜)	96,000円(税抜)
非会員オペレータ	10,000円(税抜)	120,000円(税抜)
お知らせ受信限定会員(※2)	無償	

※1:お申し込みは、局(利用規約に定義)単位とします

※2:お知らせ受信限定会員は、連盟の認める一部コンテンツ、およびサプライヤーの提供する番組宣伝コンテンツ等のダウンロードの利用に限定されます

サプライヤー(※3)	月額	年額
正会員サプライヤー	100,000円(税抜)	1,200,000円(税抜)
正会員サプライヤー(ライトコース)(※4)	20,000円(税抜)	240,000円(税抜)

※3:お申し込みは、チャンネル単位(利用規約に定義)とします

※4:ライトコースは月間HD番組10時間までのアップロード制限での利用とします

〈お申し込みに関するお問い合わせ先〉

一般社団法人 日本ケーブルテレビ連盟 コンテンツ・ラボ事務局

Eメール: jcta_contents-lab@catv.or.jp TEL:03-3566-8200 FAX:03-3566-8201

編集後記



今回のJCNとTCNへの取材を通じて、AJC-CMSはコンテンツ流通システムの枠を越え、人と人をつなぐケーブルテレビ業界内のSNSのような役割も果たしていると感じました。絆を結ぶインフラとして広くご活用いただければと思います。(小林)



各局がAJC-CMSを基盤に、こちらが想像もしなかった番組企画などを考えていらっしゃることを知り、驚きと喜びを感じました。今後もあっと驚くような取り組みが、AJC-CMSとともに全国に広がっていくと嬉しいです。(糸田)